

活用事例	6 停電のため放送が使えない場合の避難訓練 【特色】緊急地震速報の活用、拡声器による避難の指示		
学校名	防府市立佐波中学校		
日時	平成25年11月29日(金) 5・6時間目		
場所	校舎・体育館	参加者	生徒・教職員及び消防署職員

1 訓練のねらい

- (1) 地震・火災発生の事態に迅速かつ安全に避難する能力や態度を身に付ける。
- (2) 教職員が生徒を安全に避難誘導する能力を身に付ける。

2 訓練の概要

- (1) 想定
5校時に地震が発生し停電、その後、理科室から火災が発生したため、体育館へ緊急避難する。
校長は出張中で不在。授業者は学級担任で、副担任によるハンドマイクでの避難誘導を行う。

(2) 訓練の流れ

- ① 緊急地震速報(13:45)
・教頭による緊急放送

「訓練です。緊急地震速報が発令されました。強い揺れに警戒して下さい。」

- ・教頭 危機体制を指示
- ・生徒 机の下に避難

- ② 地震の揺れの放送(13:46)
・教頭による緊急放送

「地震による揺れが発生しました。停電の可能性ありますので、これ以降は授業の先生の指示に従って下さい。」

- ・教頭 TVで防災情報を確認、全学級の授業を確認し、職員室の教員へ伝達

- ③ 火災発生(13:48)
＜理科室前非常ベル＞
・教頭・教務 火災受信機で確認

停電想定

- ④ 火災現場の確認・報告
・消火器を持参する
・教頭への報告
・事務室へ119番通報を指示

⑤ 避難誘導連絡

- ・停電のため、各学年副担任がハンドマイクで避難誘導を行う。

「理科室から火災が発生、体育館に避難！」

- ・保健室・相談室・通級教室へ避難連絡

⑥ 避難開始

- ・教科担任は、生徒の避難経路誘導及び避難経路の安全確認
- ・生徒は廊下に整列し、頭上に注意しながら避難(頭部を保護する物やハンカチで口を押さえる)
「押さない・走らない・しゃべらない」

⑦ 避難完了

- ・体育館に集合・整列
- ・養護教諭 負傷者の確認

⑧ 講評・講話

- ・訓練の講評(教頭)
- ・防府消防署予防課職員による講話
「火災から身を守る」

⑨ 感想文記入

- ・教室で感想を書く。
〈アンケートの項目〉
○避難訓練の態度はどうでしたか。
○校舎内で地震が起きたら、とても危険ではないかと思う場所を書いて下さい。
○今日の避難訓練についての感想を書いてください。
○消防署の方へお礼の手紙を書きましょう。



机の下に避難

3 訓練の成果と課題

【成果】

教職員

- ◇ 素早い対応ができた。誘導指示を的確に行い、スムーズな避難ができた。
- ◇ 避難経路を教職員が判断することで、臨場感のある誘導訓練となった。
- ◇ 火災受信機から火災現場を特定し、冷静な避難誘導ができた。

生徒

- ◇ アンケートによる校舎内での危険箇所の想定など、日頃の防災意識が高まった。
- ◇ 消防署職員による避難訓練に対する評価から、課題が明確になった。

【課題】

- ◆ 生徒の防災に対する意識を高め「ハンカチで口をふさぎ、押さない・しゃべらない・走らない」を徹底させること。
- ◆ 次年度は、ブラインド方式など更に臨場感のある避難訓練を実施し、生徒・教職員が状況に応じて対応できるよう、安全意識の向上と危機対応能力の強化を図りたい。

生徒の感想より

① 生徒から出た校舎内での危険箇所

理科室・調理室（火災）・図書室
階段・わたり廊下・下駄箱など

② 今日の避難訓練の感想

1年生

「放送があったらすぐに自分の机に行くことができたので良かったです。もし、自分が一人だったらと思って次から頑張りたいと思います。」

「今日の避難訓練では、教室で机の下に入るときや教室から体育館への移動中にしゃべってしまったので、反省しないといけないところだと思いました。次からは静かに移動するようにしたいと思います。」

「火災に対するお話はとてもためになりました。火事があったとき自分ならどうするかなど、地震が起きたときやまわりで火災が発生したときのいろいろな場面を想像して聞けました。」

2年生

「最初、机の下に身体を入れるとき、絶

対に入らないと思ったけど、全部入ることができました。地震で放送が使えなくなったときは先生の声だけになるので、黙って避難することが大事だと思いました。」

「避難の時、少し話があったのはいけなかったと思いました。消防署の方の話は全員真剣に聞けました。」

「次の避難訓練では100点が取れるようにしたいと思います。」

3年生

「今日は理科室からの避難で、クラスで静かに避難することができたので良かった。全体としては私語があったクラスもあるので、次回は100点がもらえるように気をつけたい。」

「放送がかかってから、机の下に避難するときは全員が黙ってできたので良かった。」

「火事が起きたときには、初期消火・避難・通報の3つが大事だと分かりました。火事や災害はいつどこで起きるか分からないので、安全に対する意識を常にもっておく必要があると思いました。」

「放送があって体育館に行くのは早かったと思います。火災についての消防士さんの話で、ほんの少し消し残した火でも大火事になることを知り、恐いなと思いました。これからの季節、火はもちろん、コンセントやストーブなどに気を付けたいです。」

③ 消防署の方へ

「今日はとても貴重なお話ありがとうございました。さらに地震や火災の恐さを知ることができました。地震のことも聞けたけど、特に火災の恐ろしさは印象に残りました。ちょっとした火の不始末で火災は起こるし、少しの判断ミスで命を落としてしまうことが分かったけど、今日のような避難訓練を思い出して、自分の命を守り、人の命も守れるようになりたいです。」

「お忙しい中、ぼくたちのために様々なことを教えてください、ありがとうございました。消防士になられた志望の動機や仕事の内容など、進路に関する話はとても参考になりました。自分も自分の進路について真剣に考えるきっかけになりました。火事では、初期消火・避難・通報の3つのことを大切にして火災予防をしていきたいです。御指導ありがとうございました。」